

スーパースリッド[®]

マウンテンロープ

独自の製造技術によって合成樹脂心の製品化に成功し、
実地テストによってその優れた特性が確認されました。

ワイヤロープの中心に配置した耐久性に富んだ樹脂心は、
従来の繊維心に比べて使用中の心材の減径が少なく、使用
開始直後のロープの初期伸びが小さいだけでなく、長期
使用による累積伸びが小さくなりました。

また、心材の劣化に伴うロープ径の減少及び
ストランド相互の接触圧増が抑制されます。

心材は熱可塑性樹脂を使用しているため、
溶融金属によるソケット加工にご使用の際に
はご相談ください。

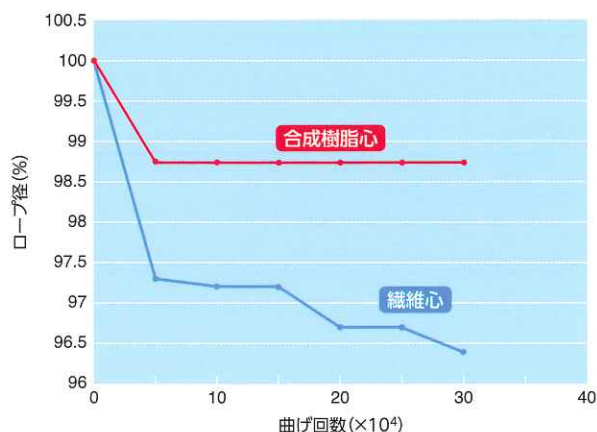


採用によるメリット

ロープ径減少が小さい

「ロープ径減少」が小さいことにより、ロープ交換周期を長くすることができま。 (長寿命)

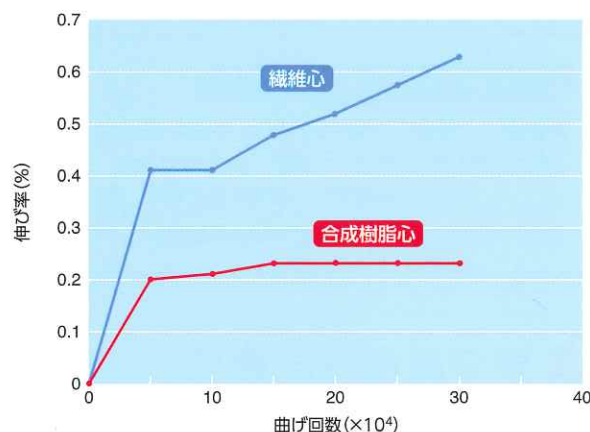
ロープ径の推移



伸び率が小さい

「伸び率」が小さいことにより、従来数回必要だった切詰作業を軽減でき、場合によっては行なう必要がなくなるため、維持管理費を大幅に削減できます。

伸びの推移



ワイヤロープ規格表

※下表以外の構成、ロープ径についてもご相談に応じます。

スーパーソリッド **6×WS(31)** 構成:6×WS[1+6+(6+6)+12]
 スーパーソリッド **6×WS(36)** 構成:6×WS[1+7+(7+7)+14]

構成	ロープ径 (mm)	最外層素線径 (mm)		断面積 (mm ²)	破断力 (kN)			概算単位 質量(参考) (kg/m)
		WS(31)	WS(36)		A種	B種	SP種	
 6×WS(31)	32.0	2.08	1.83	442	569	607	657	4.05
	34.0	2.20	1.94	499	643	685	741	4.58
	35.0	2.27	2.00	529	681	726	786	4.85
	36.0	2.34	2.06	560	721	768	832	5.13
	39.0	2.55	2.24	667	846	901	977	6.02
 6×WS(36)	40.0	2.58	2.27	691	890	948	1030	6.33
	41.0	2.66	2.34	726	935	996	—	6.65
	44.0	2.86	2.51	836	1080	1150	—	7.66
	45.0	2.95	2.58	886	1130	1200	—	8.01
	48.0	3.12	2.74	995	1280	1360	—	9.12
	50.0	3.25	2.86	1080	1390	1480	—	9.90
	52.0	3.40	3.00	1180	1500	1600	—	10.7

※青字は(一財)日本鋼索交通協会 規格値

スーパーソリッド **6×P・WS(31)** 構成:6×P・WS[1+6+(6+6)+12]
 スーパーソリッド **6×P・WS(36)** 構成:6×P・WS[1+7+(7+7)+14]

構成	ロープ径 (mm)	最外層素線径 (mm)		断面積 (mm ²)	破断力 (kN)			概算単位 質量(参考) (kg/m)
		P・WS(31)	P・WS(36)		A種	B種	SP種	
 6×P・WS(31)	32.0	2.08	1.83	476	654	714	774	4.34
	34.0	2.20	1.94	537	739	806	873	4.90
	35.0	2.27	2.00	569	783	854	925	5.20
	36.0	2.34	2.06	602	828	904	979	5.50
	39.0	2.55	2.24	718	972	1060	1150	6.45
 6×P・WS(36)	41.0	2.66	2.34	781	1070	1170	1270	7.13
	44.0	2.86	2.51	900	1240	1350	1460	8.21
	45.0	2.95	2.58	954	1290	1410	1530	8.59
	48.0	3.12	2.74	1070	1470	1610	1740	9.77
	50.0	3.25	2.86	1160	1600	1740	—	10.6
	52.0	3.40	3.00	1270	1730	1890	—	11.5

(注)最外層素線径は同一構成の丸線ロープの素線径を準用。

ご注文・お問合せについてのお願い

索道用は、ご使用になる条件に適合した構成、種別、太さなどを選定して、ご注文下さい。

ご注文に際しては ●ロープ構成 ●めっきの有無 ●より方 ●ロープの径 ●種別 ●破断力 ●長さ ●ロープグリースの種類
 ●端末加工の有無及び方法 ●その他(例えば、プレテンション加工など)をご指示下さい。

なお、ご不明の点は最寄りの東京製綱事業所まで、お問い合わせ下さい。

東京製綱株式会社

本社 東日本営業部 〒103-8306 東京都中央区日本橋三丁目6番2号(日本橋フロント)
 関西支店 〒541-0054 大阪市中央区南本町二丁目3番12号(EDGE本町)
 札幌営業所 〒060-0807 北海道札幌市北区北七条西五丁目5番3(札幌千代田ビル3階)

TEL.(03)6366-7755 FAX.(03)3278-6870
 TEL.(06)6266-4774 FAX.(06)6266-4776
 TEL.(011)700-3022 FAX.(011)726-3215